

公益学部生のみなさん

東北公益文科大学公益学部では、A1 クォーターの授業科目は原則として対面で実施することといたしました。

新型コロナウイルス感染症対策本部会議で協議し、大学のある庄内地域は2ヵ月以上新規感染者が確認されておらず、みなさんがこの地域に留まっている限り、感染拡大リスクは低いと判断されることや、授業評価アンケートで対面型の授業を希望する意見が多かったことなどから、この方針を決めたものです。

対面型授業を増やすことに対しては、不安をお持ちの方もおられると思います。しかし、公益学部では「グローバルな視野を持ち、地域の人々とともに、地域社会が直面する経済、行政、福祉などの課題に、リーダーシップを持って果敢に取り組む人材」を人材育成像に掲げており、こうした現場の課題を認識し、異なる価値観を持つ人々と合意を形成していく力を養うには、対面授業やフィールドワークに強みがあると考えています。

一方で、オンラインには集中して取り組みやすいことや質問をしやすいことなどの良さがあることも事実です。A1 クォーターにおいても一部の科目ではオンラインを継続し、オンラインの強みをさらに追究していきます。

本学としては、みなさんが安心して学業に取り組むことができるよう、春学期と同様に教職員や学生、大学施設等の感染症予防を続けます。しかし、そうした対策は皆さん一人一人の自覚と行動がなければ、徹底させることはできません。仮に自分が感染していて、他の人に感染を広げた場合、その人がどれだけ苦しむのか、どれだけ周囲の人に悪影響が及ぶのかを十分に考えてください。そのうえで、感染リスクのある行動は、勇気を持って避けるようにしましょう。

みなさん一人ひとりの思いやりと勇気をお願いします。

公益学部長